

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	保育園児の訪問や、散歩時に近所の人と挨拶を交わしたり、喫茶店へ立ち寄りたりすることは入居者の楽しみになっている。自治会に加入し回覧板を回したり公園のゴミ拾いに参加したり、スーパーの店員や客と顔見知りになり話が弾んでいる。婦人会のバザーに出かけたり、大正琴、フルート、落語などのボランティア・中学校の福祉体験学習の受け入れ等、日常的に交流をしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議はほぼ2カ月に1回開催している。メンバーは自治会長、民生委員、消防団員、家族、協力医、入居者でホームの状況や取組み、評価結果等を報告している。消防団員が救急救命やAEDの講習会を開いたり、開催場所に近所の喫茶店を利用したりして参加を呼びかけている。今後は会議の内容を参加者以外にも報告しアイデアや意見を活用したいと考えている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市町村が主催の介護に関する勉強会に参加している。困ったことや分からないことは電話で相談をしている。今後はパンフレットを持参したり運営推進会議の報告をしたりと積極的にアプローチして協力関係を築いていきたいと考えている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	玄関には意見箱が設置され誰でも利用できるようにしている。運営推進会議や行事にできるだけ参加してもらい意見や要望が聞けるように声をかけている。家族へは3カ月に1度、フロアチーフと管理者から各入居者の現状を書面で報告し、心配事や意見があればすぐに職員間で話し合い対応している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自治会に加入し回覧板で地域の情報や行事を知ることができる。公園のゴミ拾いに参加したり、保育園や小学校との交流も行っている。運営推進会議への参加を呼びかけると同時に多くの人から意見やアイデアを出してもらえるように、意見箱を目に付きやすいように工夫したり、運営推進会議に参加できなかった家族や地域包括支援センター等へ報告をする等、積極的に取り組んでいきたいと考えている。また、実施していることは記録にして反省や次へのステップに活用したいとも考えている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。